

令和6年度 岐阜県美術館 第1回美術品等収集委員会 議事録

日時	令和 6 年 8 月 1 日(木)／7 日(水)／18 日(日) 午後 1 時 30 分～3 時 00 分		
場所	岐阜県美術館特別応接室／東京藝術大学学長室		
出席者 (委員)	(順不同) 雪山行二 美術史家 (欠席) 村田眞宏 豊田市博物館 館長 矢橋龍宜 矢橋ホールディングス株式会社 代表取締役社長 田口義隆 セイノーホールディングス株式会社 代表取締役社長 高橋明也 東京都美術館 館長 長屋光枝 国立新美術館 学芸課長 花里麻理 茨城県陶芸美術館 学芸課長		
(事務局)	日比野克彦 岐阜県美術館 館長 小野正行 岐阜県美術館 副館長兼総務部長 正村美里 岐阜県美術館 副館長兼学芸部長 他 岐阜県美術館学芸部職員、岐阜県県民文化局文化伝承課職員		
議事内容および委員からの意見			
◆委員の都合に合わせて 2 会場で作品を前に 3 回同様の説明を行い、委員より意見をいただいた。 日比野館長 開始の挨拶 正村副館長 司会進行、委員、事務局員紹介／進行手順説明 担当学芸員 作品説明			
委員からの意見 （作品実見の最終意見）			
【購入作品】オディロン・ルドン版画集『起源』(9 枚セット)より 4 点のリトグラフ A 委員 旧所蔵者は国立西洋美術館にも旧蔵品が収蔵されている大コレクター。バラバラにオークションに出たのか。― (事務局) 1 枚と 3 枚で異なる。 B 委員 とても状態が良い。― (事務局) 最小限の修復で大きな傷みはない。 A 委員 この版画集を全て持っている館はどれくらいあるのか。― (事務局) パブリックでは世界で 10 館ほど。他は個人コレクション。 A 委員 岐阜県美術館に欠けている作品をどのように探し出したのか。― (事務局) 展覧会の調査と共に探しているという情報を出した。これまでもあったが時期がうまく合わなかった。 C 委員 評価額は適当か。― (事務局) 当館の代表的版画作品と比較して同等の価格。近年ルドンの評価が高まっていることを考えると妥当。 A 委員 参考価格を記載しておくといよい。― (事務局) 了解した。次回からそうにする。 C 委員 既に所有しているシートもあるが、違う刷りの同作品を見る機会は少ないため面白い。素晴らしい作品で今回はとても良いタイミングだと思う。 A 委員 世界的なルドンコレクションを有する岐阜県美術館がさらにそのコレクションを強固にする良い購入だ。 C 委員 ルドンは独特な作家で近年は欧米でまた新たに注目されている。代表的なシリーズが完成するのは素晴らしい。 B 委員 岐阜のルドンは良く知られている。版画はマニアックな印象があるが、今回の収集で版画の魅力がより伝わればよいと思う。 D 委員 今回の収集で『起源』のシリーズ 9 点全てが揃うことに非常に意味がある。まず、作者の思考が辿れるようになる。また、制作のプロセスを解き明かすことで、関わった業者や道具も明らかになる。 E 委員 重複して作品を収蔵することは一般的には否定されがちだが、1 点 1 点の違いが出るものだから重要だ。実作品での比較を館内でできることの意味は大きい。金額的にも妥当である。 F 委員 見つかって良かった。こうした情報を是非展覧会で発表してほしい。			
司会	以上の作品を今年度購入、収集することとしてよろしいか。― (委員) 異議なし。		
館長	4 点について収集に問題なしとご意見をいただいた。お礼申し上げる。		